

6月 6-12 日

サムエル第二 9-10 章

124 番の歌と祈り

開会の言葉 (1 分)

神の言葉の宝

「ダビデは揺るぎない愛を示した」 (10 分)

宝石を探し出す (10 分)

サム二 10:4, 5 それでハヌンはダビデの家来たちを捕まえ、顎ひげを半分そり落とし、服も腰から下半分を切り落として、追い返した。5 ダビデはそのことを聞き、すぐに人を送って家来たちを迎えに行かせた。家来たちがひどい辱めを受けたからである。王はこう伝えさせた。「顎ひげが伸びるまでエリコにいて、それから帰ってきなさい」
ハヌンの行動はイスラエル人の男性を辱めるものだった。なぜと言えるか。

(洞-1 37 あごひげ) イスラエル民族を含め、東方の多くの古代民族の間では、あごひげは男性的な威厳を示すものとして大事にされました。イスラエルに対する神の律法によれば、「びんの毛」、つまり目と耳の間の毛を切り取ったり、あごひげの端を切ったりすることは禁じられていました。(レビ 19:27; 21:5) これは、そうすることが一部の異教徒の間では宗教的な慣行だったからに違いありません

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

ハヌンは、ダビデが自分を慰めようとした親切な好意を誤解し、ダビデの代表者たちを酷く辱めた理由が 10:3 で、高官たちの消極的な見方の影響を受けたためであることが記録されている。エジプトから逃れたイスラエル人も 10 人の斥候から被害を受けたように、消極的な影響力は非常に強力で悲惨な結果を招く危険があることを教えてくれる。積極的な見方を持つ人を友とすることの大切さをこの記録からも学びました。

聖書朗読 (4 分) サム二 9:1-13 (教励 第 12 課)

野外奉仕に励む

最初の話し合い (3 分) 話し合いのサンプルを用いて話し始める。よくある反対意見に対処する。(教励 第 3 課)

再訪問（4分）[話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供し、「[この冊子の特徴](#)」の部分を簡単に説明する。（[教励 第17課](#)）

聖書研究（5分）[暮 レッスン 05 副見出し 4](#)（[教励 第13課](#)）

クリスチャンとして生活する

[116 番の歌](#)

「愛があれば... 親切」（5分）討議。[動画](#)を再生し、次の質問をする。

①ダビデはメピボセテに対し、どのように親切を示したか。

ダビデは、メピボセテの父ヨナタンのために、メピボセテに親切を示した。

サウルの土地を全てヨナタンに返すことを約束した。

これからは一緒に食事をすることも約束した。

（私が何者だと言うので、私のような死んだ犬に目を留めてくださるのか？）

実際に食事に招き、ヨナタンを慰めた。

②私たちは、他の人に親切や揺るぎない愛をどのように示せるか。

困窮している人や仲間の必要にいつも目を向けて、できる限りの親切を示し続ける

組織の活動の進展（10分）「[組織の活動の進展](#)」の6月の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 07](#)

閉会の言葉（3分）

[1 番の歌](#)と祈り

^ [（サム二 9:1-10:19）](#) ダビデは言った。「サウル家には生き残っている人が誰かいますか。ヨナタンのために、揺るぎない愛を示したいのです」。2 サウル家にはツィバという家来がおり、ダビデのもとに呼ばれた。王が「あなたがツィバですか」と尋ねると、彼は「私はあなたに仕える者です」と答えた。3 王は続けた。「サウル家に生き残っている人が誰かいますか。神の揺るぎない愛を表したいのです」。ツィバは王に答えた。「ヨナタンの子が1人います。両足が不自由な人です」。4 王は尋ねた。「その人はどこにいますか」。ツィバは王に答えた。「ロ・デバルのアミエルの子マキルの家にいます」。5 ダビデ王は直ちに、ロ・デバルのアミエルの子マキルの家からその人を連れてこさせた。6 サウルの子ヨナタンの子メピボセテがダビデのもとにやって来て、すぐにひれ伏した。ダビデが「メピボセテ！」と言うと、彼は「はい、王よ」と言った。7 ダビデは言った。「恐れることはありません。あなたの父親ヨナタンのために、私は必ずあなたに揺るぎない愛を示します。あなたの祖父サウルの土地を全てあなたに返します。あなたはいつも私の食卓で食事することになります」。8 メピボセテはひれ伏して、「私が何者だと言うので、私のような死んだ犬に目を留めてくださるのですか」と言った。9 王はサウルの従者ツィバ



ダビデは揺るぎない愛を示した

ダビデは、**揺るぎない愛を示す機会**を**探した**。（[サム二 9:1](#)）ダビデは言った。「サウル家には生き残っている人が誰かいますか。ヨナタンのために、揺るぎない愛を示したいのです」。[塔 06 6/15 14 ページ 6 節](#)「立場の低い者に対して思いやりをもって行動する人は幸いです」とダビデは書き、こう続けています。「災いの日にエホバはその人を逃れさせてくださいます。エホバご自身が彼を守り、彼を生き長らえさせてくださるのです。彼は.....幸いな者と言われるでしょう」。（[詩編 41:1, 2](#)）ダビデが、愛する友ヨナタンの息子で足のなえていたメピボセテに示した優しい思いやりは、立場の低い人に対する正しい態度の模範です。—[サムエル第二 9:1-13](#)）

ダビデは、**メピボセテを助けるためにすぐ**に**行動**した。（[サム一 20:15](#)）私の家の人たちに揺るぎない愛をずっと示してください。エホバがあなたの敵を地上から一掃するとしても、[, 42. サム二 9:5-7](#)）ヨナタンはダビデに言った。「安心して行きなさい。私たちはお互いエホバの名によって誓い、『私とあなたの間、私の子孫とあなたの子孫の間に、エホバがいつまでもいてくださいますように』と言ったのですから」。ダビデは立ち上がって去っていき、ヨナタンは町に戻った。[塔 05 5/15 17 ページ 11 節](#)）ダビデは約束を守りました。わたしたちも約束を守るように努力しなければなりません）

ダビデは、**メピボセテの相続地**を**ツィバに管理**させた。（[サム二 9:9, 10](#)）王はサウルの従者ツィバを連れてこさせ、こう言った。「サウルとその一家全体のものを全て、あなたの主人の孫に与えます。10 彼のためにあなたは土地を耕してください。あなたの子たちも召し使いたちもです。あなたは実った物を集め、あなたの主人の孫の家族に食物として与えます。あなたの主人の孫メピボセテは、いつも私の食卓で食事することになります」。ツィバには 15 人の息子と 20 人の召し使いがいた。[塔 02 2/15 14 ページ 10 節](#)）10 幾年か後、ダビデ王はヨナタンに対する深い愛に動かされて、メピボセテに愛ある親切を表わしました。ダビデはサウルの財産すべてをメピボセテに与え、サウルの従者デバをその土地の管理人に任じました。さらにダビデはメピボセテに、「**あなたは、いつもわたしの食卓でパンを食べるのだ**」と言いました。（[サムエル第二 9:6-10](#)）ダビデの愛ある親切はメピボセテにとって慰めになり、身体障害のつらさを和らげる助けともなったに違いありません。何と優れた教訓なのでしょう。**わたしたちも、肉体のとげと格闘している人たちに親切を示すべきです。**）

ダビデはヨナタンとの約束を忘れなかった。私たちも、**仲間の兄弟姉妹に揺るぎない愛を**示す必要がある（[詩 41:1-2](#)）**立場が低い人を思いやる人は幸せだ**。災難の日エホバはその人を助け出す。2 エホバはその人を守り、生き続けさせる。彼は地上で、幸せな人と言われる。あなたが彼を敵の思い通りにさせることは決してない。[格 19:17](#)）**立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて(*返して)くださる**）